

オクラ農家約60戸が集中する串間市市木地区では古くからオクラの生産が行われています。串間市内から海岸に向かう入り江には、広大なオクラ畑が広がります。今では約半数が70歳以上の高齢者。5月から始まる収穫時期は1日で1cm以上成長していくオクラとの追いかけっこ。最盛期には、負けじと早朝から収穫しても、夕方にはまた収穫してくれと催促するオクラ達に追われます。手作業での選別、袋詰めも大忙し。中には80歳代の生産者も。これからもこの夏の風景が見られるよう、くしまオクラを応援ください。



©くしまオリジナルブランド推進協議会

100年先まで豊かに

宮崎牛、ヤマダイかんしょ、
完熟きんかんたまま、
太陽のたまご、市木オクラ、
ワンタッチきゅうり
黒瀬ブリ、e-かんぱち・・・

豊富な食を作り続ける

自然の恵と生産技術。

天然記念物の野生動物と

その生育環境を守り続ける地域。

わたしたち

”くしまオリジナルブランド推進協議会”

はこの環境と技術を

100年先まで継承することを目指して

活動しています。



くしまオクラ



「知るほどに好きになる」





御崎馬



日南海岸

宮崎県串間市

九州の南東部、宮崎県の最南端に位置する串間市。宮崎空港から太平洋の波しぶきを肌を感じる日南海岸を、ワシントンニアパームに迎えられながら、ドライブすること1時間30分。海岸沿いを中心に広がる原風景はまさに桃源郷。入り江に見える無人島、幸島に住む野生猿。岬に生息する野生馬の御崎馬。太陽と共に顔を覗かせます。

ようこそ串間へ。

SCENIC SPOTS

- ✓都井岬
- ✓恋ヶ浦
- ✓石波海岸
- ✓幸島

串間の夏、日本の夏、オクラの季節です。

オクラの原産地はアフリカ。暑さに強いオクラは宮崎最南端の太陽の日差しを喜び育ちます。

5月の終わりごろから11月まで収穫されます。



PRODUCER:

辺りの暗い朝3時、4時からヘッドライトの光を頼りに収穫を始めます。生育初期の低い樹は、立膝になって収穫をするので膝にサポーターをつけての作業です。生育が早く朝夕2回収穫する時もあり、長時間の作業でオクラのうぶ毛にまけて指紋がなくなる人も。収穫作業は大変ですが夏を実感する作業です。～原田俊一JAはまゆうオクラ専門部長～



原田部長



手作業での選別

LOCATION:

オクラの生産の中心地となっている市木地区は「日本の渚百選」にも選ばれた石波海岸を有し、海岸からは「幸島」が目の前に見えます。海岸沿いから山間地にオクラ畑が広がっています。最盛期には人の背の高さを越えるほどの高さになり、南国情緒のある白い花が咲き誇ります。



石波海岸



市木地区

RECEIPE BY JAはまゆう女性部:

ネバネバ野菜の代表格であるオクラは、料理によってはとれたてのシャキシャキ感も楽しめます。さっと固めに茹でて、ぬか漬けもオススメです。



オクラケーキ



オクラの梅肉和え